

洋上風力発電専門作業員及び小型作業船（CTV等） 乗組員育成のための教育訓練プログラム構築及び 訓練環境の整備と海洋人材開発

2022年12月

日本郵船株式会社

日本海洋事業株式会社



日本郵船



日本海洋事業
NIPPON MARINE ENTERPRISES

CHAPTER 1

▶ 取り組みの概要など



- ◆ 洋上風力発電総合訓練センター/仮称 (最終目標)
専門作業員・作業船船員の訓練と育成及び将来の人材開発などを総合的に行う
- ◆ 洋上風力発電業界のニーズに即した国内人材の育成 (目先目標)

専門作業員の育成 (カテゴリc)

取り組み概要

洋上風力発電専門作業員



- 洋上作業安全訓練カリキュラム作成・認証取得
- 特殊技能訓練実施検討

洋上風力発電作業船乗組員



- 船員基本訓練カリキュラム作成・認証取得
- 小型作業船 (CTV等) 操船訓練カリキュラム作成・認証取得

+ 自治体/教育機関・企業との連携



- プール等学校施設の供与 (秋田県・男鹿市・県立男鹿海洋高校)
- 自治体が行う既存人材育成プログラムとの紐づけ
- 陸上作業安全訓練との連携 (東北電力RENES殿)
- 将来的な利用を見据えた訓練需要者の支援

(特徴・効果)

訓練は広く一般へ開放
授業を含めた機材等の開放
より公共性の高い施設へ
より波及性ある訓練に

(特徴・効果)

既存施設の供与で経済性向上
訓練や施設を授業/見学開放
洋上風発・海事思想への理解
より魅力ある地域へ

企業+自治体/教育機関が
一体となって取り組む

洋上風力発電総合訓練センターを最終形として年間1000人の輩出を目指す

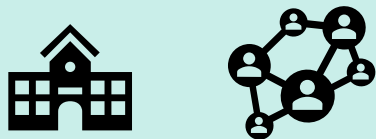
さらに認知が必要な部分



これまで必要とされている認識

- 海事思想の普及
- 洋上風発事業への理解
 - ⇒ 海事職・洋上風発事業への興味
- 安定・安心な人材供給
 - ⇒ 学生
 - ⇒ インストラクター

新たなヒトの流れが必要



広く認知されている部分



日本ではこれから広がる産業

- 洋上風車技師の人命・安全
- 船舶乗組員 の人命・安全
- 安定・安心な洋上サービス

⇒ 洋上風発技術に特化

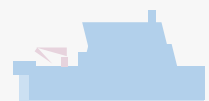
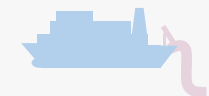
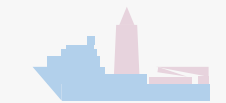
⇒ 船舶全般に関する理解

訓練施設と訓練機会が必要

⇒ 従来のトレーニングセンター



現場へ



CHAPTER 2

▶ 訓練予定地と体制について

訓練予定地について

船員基本訓練実施 候補予定地



男鹿海洋高校の室内プール



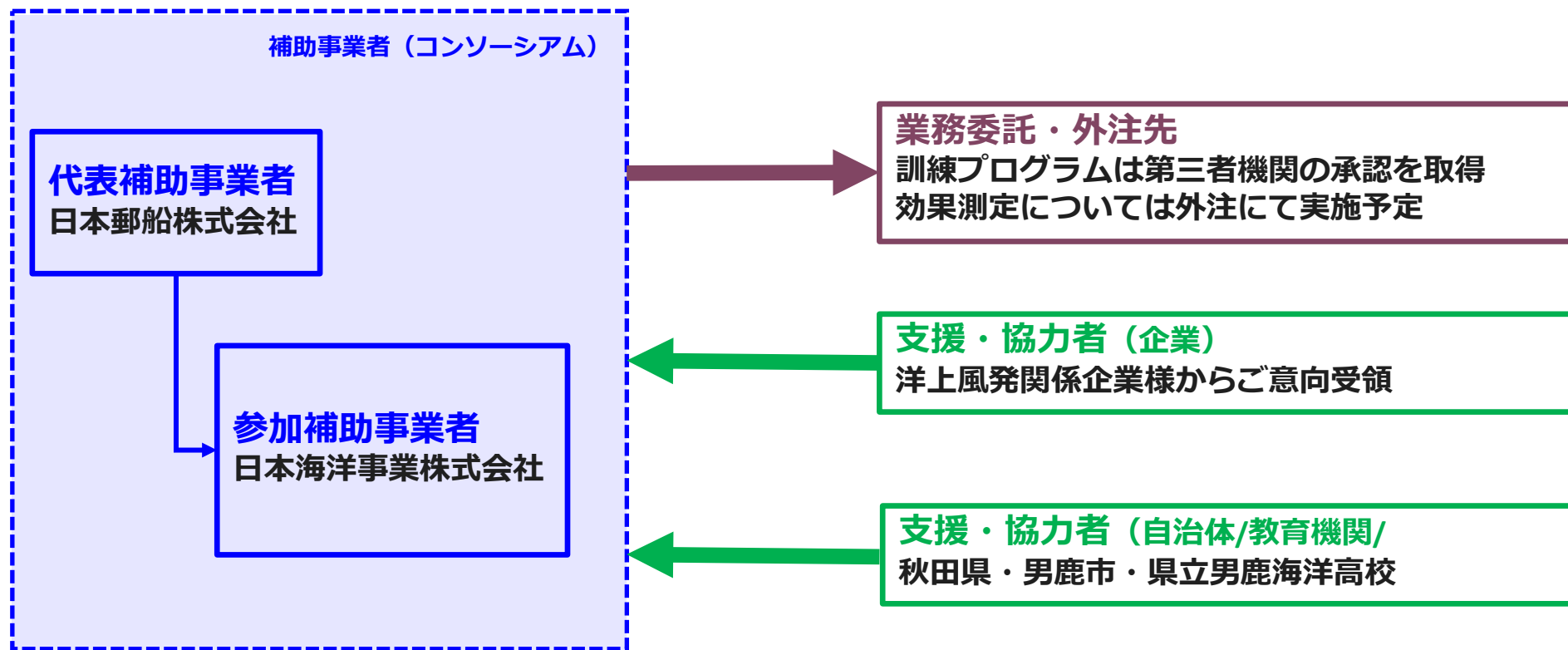
男鹿海洋高校敷地内（操船シミュレーター）



シミュレーターを用いた小型船（CTV等）船員訓練コースを想定
(写真はJMS施設/HPより引用/画像はイメージ)

秋田県男鹿市に海洋人材訓練関係を集約





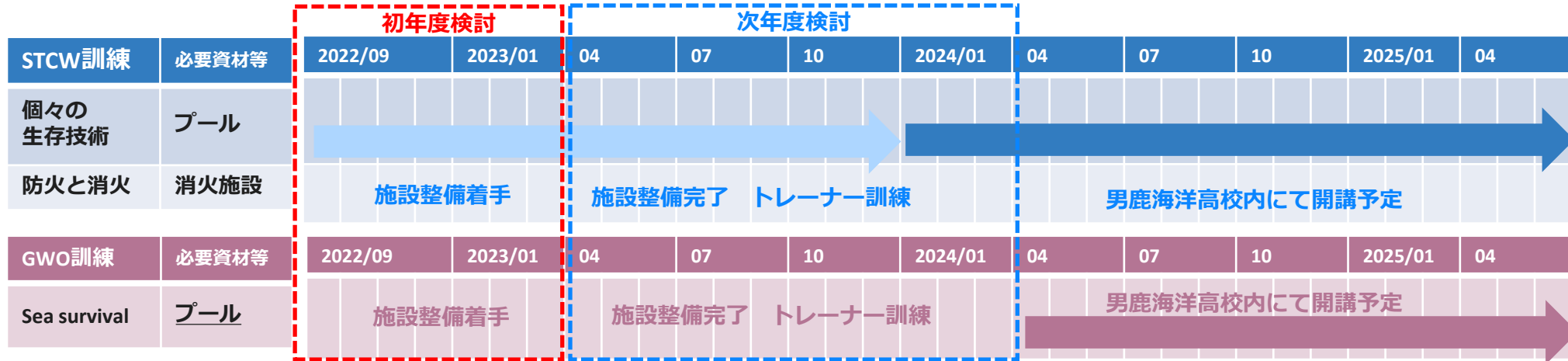
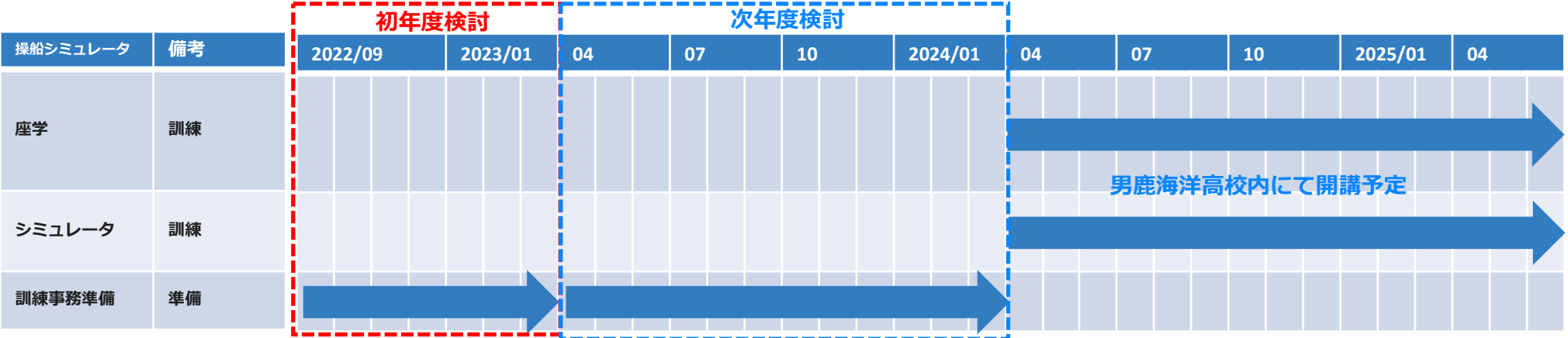
（特徴）

- 港湾・一般海域で少なくとも4海域+陸上風車も多い秋田県での立ち上げ+実需要者からの後援
- 洋上風力作業船の乗組員（大型）から警戒船等のサポート船（小型）の乗組員まで必要となる船員基本訓練にも対応
- 小型作業船（CTV等）のシミュレータ訓練による安全運航への寄与
- 海洋高校との連携で地元の人材育成に寄与+自治体の人材育成プログラムとも連携（連結包括協定）

CHAPTER 4

▶ 各訓練施設等 準備状況

訓練内容とスケジュール



項目	内容
成果指標	訓練属具等教材の手配及び訓練開始に向けた施設の整備を行う
効果測定	コンソ内で知見を得るスタッフ+外部コンサルの両面にて測定



免責事項

本資料は、電子的または機械的な方法を問わず、当社の書面による承諾を得ることなく複製又は頒布等を行わないようお願いいたします。

Legal Disclaimer

No part of this document shall be reproduced, stored in a retrieval system or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording or otherwise, without the prior written permission of NYK Line.